

平成 29 年度

# 産業文化部の運営方針

<部の構成>

産業文化政策課、産業振興室商工振興課、産業振興室賑わい交流課、産業振興室農業振興課、文化生涯学習室

<担当事務>

- (1)生涯学習の推進に関すること。
- (2)市民文化及び都市交流に関すること。
- (3)商工業及び観光に関すること。
- (4)農業に関すること。

<部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	58名
再任用職員	15名
任期付職員	-名
非常勤職員	37名
合計	110名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

産業文化部は、商工業、観光、農業という産業と文化・生涯学習の振興を担当しており、いずれも「豊かで誇りある枚方」を実現する上で、欠かせない施策分野です。

市内産業の振興は、地域での雇用創出や税収確保の面からも重要であり、創業支援をはじめとした新たな産業の創出や商工業の活性化に向けた取り組みを行います。

さらに、農業後継者の育成と農業経営に必要な農地確保など、まちづくりの観点から「農」を守る取り組みを進めます。

また、文化芸術の拠点である(仮称)枚方市総合文化芸術センターの整備に取り組むとともに、昨年度策定した文化芸術振興計画に基づき、本市で培われてきた文化・芸術の土壌をさらに発展させていきます。

これらを効果的に進めるため、市民や関係団体、事業者等と連携・協力しながら取り組みます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 観光施策の戦略的推進

目標	賑わいの創出や地域の活性化を図るため、淀川の自然や枚方宿といった歴史・文化資源をはじめ、ショッピングモールといった民間施設などあらゆる地域資源を活用し多くの人が訪れたいと思えるまちとなるよう取り組みを進めます。
取り組み	枚方市において活用可能な地域資源の掘り起こしを行い、様々な媒体を活用して情報発信を行います。

<b>(2) 新たな名物の開発及び発信</b>	
<b>目標</b>	本市と交野市の共通の地域資源である天野川を活用した「天の川ツーリズム」や、「ふるさと名物応援宣言」の実施等、これまでの取り組みに加え、両市の地域資源を活用した名物商品の開発などにより、さらなる魅力発信に取り組みます。
<b>取り組み</b>	交野市、北大阪商工会議所、民間事業者等と連携を図り、枚方市と交野市の地域産業資源等を活用した新たな名物となる商品開発に取り組みます。 平成 29 年度当初予算：1,000 千円（交野市：1,000 千円）

<b>(3) 市制施行 70 周年記念事業の実施</b>	
<b>目標</b>	市制施行 70 周年を契機に地域資源を活用した事業を実施し、賑わいの創出やまちの魅力創造につなげます。
<b>取り組み</b>	地域資源である淀川や枚方宿地区において、「音と光のファンタジーナイト」を含む複合イベント「HIRAKATA くらわんかーニバル」や「枚方宿時代行列」を実施し、関連実施する事業が新たな賑わいを創出する地域事業として定着することをめざします。 また、本市への愛着や誇りが深まるよう「ひらかた Quiz グランプリ」を実施します。 平成 29 年度当初予算：42,200 千円

<b>(4) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入</b>	
<b>目標</b>	指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の導入状況の検証を行い、楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設について、平成 30 年度からの導入に向け取り組みます。
<b>取り組み</b>	先行導入 2 施設の導入状況の検証結果や各施設の多様性、選定における競争性の確保の観点等を踏まえ業務仕様を検討していきます。 平成 29 年度当初予算：113,040 千円

<b>(5) 枚方市文化芸術振興計画の推進</b>	
<b>目標</b>	平成 29 年 3 月に策定した枚方市文化芸術振興計画に基づき、文化芸術施策を総合的に実施します。本計画に掲げる文化芸術活動の拠点施設の整備については、集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点として（仮称）枚方市総合文化芸術センターの平成 32 年度中の開館をめざすとともに、文化芸術アドバイザーの配置や同センターへの指定管理者制度導入に向け、取り組みます。また、本市の美術施策の推進に関する基本的な考え方を取りまとめます。

取り 組み	<p>文化芸術振興計画に基づき、学校へのアウトリーチ事業として子どもたちが直に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、公共スペース等で展示を行い、若手芸術家の育成を支援する事業を展開するなど、具体的な文化芸術施策の推進に取り組んでいきます。</p> <p>拠点施設の整備については、昨年度に引き続き（仮称）枚方市総合文化芸術センターの設計作業を進め、平成 29 年度中に実施設計を完了します。また、同施設のプレ事業やオープニングイベントのプロデューサーとして事業企画等を担当する文化芸術アドバイザーの選定を行うとともに、指定管理者制度導入に向けた具体的な検討を進めます。</p> <p>本市には優れた美術作品を鑑賞できる機能や、美術作品などを保存し、調査研究を行う機能が不足しているなどの課題を踏まえ、平成 29 年度中に美術館を含む美術施策の推進に関する基本的な考え方を策定します。</p>
	平成 29 年度当初予算：169,438 千円

（６）農業被害対策事業	
目標	近年の急激な都市化や生活様式の変化により、自然環境に大きな影響を与え、野生鳥獣の生息数、生息域が拡大したことから、農作物や農地への被害が生じており、貴重な農地を保全するため、有害鳥獣を一定数捕獲することで、自然と調和のとれた環境保全に取り組めます。
取り 組み	大阪府猟友会との業務委託契約により、有害鳥獣の捕獲を行います。
	平成 29 年度当初予算：350 千円

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、平成 28 年度に策定した経営計画の進捗管理を行い自立を促します。</li> <li>・（仮称）枚方市総合文化芸術センターの運営は、当該施設の基本方針に基づき、公募によるソフトとハード運営を一体化して、指定管理者が担うことから、現在、市民会館大ホールで文化事業を担っている公益財団法人枚方市文化国際財団の今後のあり方について検討を進めます。</li> </ul>
40. 指定管理者制度の拡大	指定管理者制度を先行導入した蹉跎・牧野の導入状況の検証を行い、楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設について平成 30 年度から導入します。

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
イベント等の効率的な運営	年間を通してイベント等の事業が多い上に、新たな事務事業が移管になったことと、70周年記念事業も実施することから、部内応援も含め、効率的な運営手法や体制について検討します。
効率的な事務執行について	部内のイベントをはじめスケジュールをグループウェアで共有し、日程調整、部内応援体制を円滑に行います。

## 4. 予算編成・執行

- ◆改革・改善サイクル等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力を高めていくとともに、計画的な有給休暇の取得などワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みも促進しながら、業務の円滑な遂行に努めます。
- ◆産業文化部の業務は幅が広く、それぞれの業務が密接に関係しており、部内職員が産業文化政策の全体像を把握することでさらに充実した施策展開を行うため、部内研修を実施します。

## 6. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブックなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めるとともに、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。
- ◆産業振興キャラクター「ひこぼしくん」を市制施行70周年におけるイベント等への出演をはじめ、チラシへの掲載など様々な機会を捉え認知度を高めていくことで市内産業の振興と本市の魅力発信のツールとして活用していきます。